

清水二郎治 しみず じょうぢ イタリヤ文學翻譯家。大正二年十一月十八日福井縣生れ（一九三二）。昭和十二年東京外國語學校卒。朝日新聞社勤務。日洋協會常務理事。

譯書、シユセツク・ズルト作『空は赤い』（野上素一・犬丸幹雄共譯、昭和二十五年六月十五日角川書店）、レーヴェ作『キリストはナポリに止りぬ』（昭和二十八年九月五日岩波書店「岩波現代叢書」）、エリオ・ヴェイツトリーニ作『シシリ島の邊境』（昭和二十八年十一月二十日又藝春秋新社）、グアレスキ作『ロンドン・カミロ大い困る』（昭和二十八年八月二十日又藝春秋新社）、ルイジ・カプアーチ作『シチリアの少年』（昭和二十一年十一月十日岩波書店「岩波少年文庫」）等。

